

# Eさんの場合

## 息子さんが知的障害を伴う自閉症（当時中2）

居住地：仙台市宮城野区

インタビュー日：2023年11月8日

お話：Eさん

聞き手：橋本武美

橋 今日、自閉症のお子さんのお母さんです。息子さんですね。その時は何歳でしたか？

E 中2の終わりだから…14歳かな。

橋 当時14歳。一人っ子？

E 一人っ子です。

橋 そして、障害名は？

E 自閉症。

橋 知的障害は？

E 重度。

橋 当時は支援学校？

E 支援学校。

橋 中学部？

E 中学部の2年生ですね。

橋 その時は一緒にいた？

E 一緒にいました。

橋 家で？

E 車の中でした。

橋 あ、車の中で一緒にいたのね。2人だけ？

E 2人だけ。

橋 車で、どこに？

E そこのケーズデンキの前。

橋 じゃあ……車を寄せる？

E うん、寄せて、停まっていた。

橋 ずーっと長かったもんねー。

E 長かったねー。

橋 収まるのを待ってて。息子さんはどんな感じだった？パニックとか、笑っちゃうとか。

E その時は、車がすごいやっぱり揺れたじゃないですか。

橋 ユッサユッサ。

E で、後ろにいたから、母の手のほうにこう来て「くるまー、くるまー」って言って叫んでた。

橋 何が起きたんだーって。怖がってた？

E 怖がってたね。本当に異様な揺れだったから、アトラクションかなんかに乗ってるみたいなの。

橋 そう、人によってはアトラクションとして大笑いしてた子もいるんだけど。

E あー。

橋 分かってたんだ、怖がったんだ。

E うん、あの人には怖かったみたいだね。

橋 で、ある程度収まって？

E 収まってから、自宅に戻った。

橋 自宅は、様子はどうでした？

E 食器が少し割れてたくらいで、そんなに大きな……帰った時はそんなに分からなかった。

橋 大きな被害ではなく、気づいたのは食器割れてるくらいで。帰ってきたら息子さんは、まあ帰って来たから自分の居場所に。

E そう、自分の家だからとりあえずは安心してたかな。ただ余震がやっぱり何回も続いてたから。

橋 そうだね。

E 初めパニックったりもしなかったけども、不安だったと思うね。

橋 パニックにはなんなかったけど、不安な様子はあった？

E うん。

橋 いつもの居場所みたいところに落ち着いた感じ？

E うん、リビングで。

橋 電気はもうね、停電しちゃったでしょう？

E だから、帰ってすぐ私、防災ライトみたいなのとかを出したり、石油ストーブを出したりとかして。

橋 灯油もあった？

E 灯油もあった。お布団もリビングに持ってきた。明るいうちにとと思って。お布団大好きなので。

橋 うふふふ。よかった。

E うん。

橋 寒かったもんねー。

E うん。で、お布団にくるまってたと思う。

橋 お気に入りグッズとかは？その頃って。

E あの頃はそういうのは無かったなあ。うん、特にそういうのは無い。

橋 テレビが無いと不安定になるとかそういうことでもなく？

E うん、あの頃はさほどそういうのには。

橋 食料とかは、備蓄は結構あった？

E 買い置きしてたの。結構あった。その時も出かける前に作ってたのね。

橋 あー、その日の夜の分。

E 夜の分をちょうど。だから当日翌日くらいはそれを食べてたし、備蓄もあったし。

橋 食べる物は、好きな物とかこだわりの物とかあったよね？たしかね。

E あるある。春雨とかラーメンとか。

橋 その時すごく、春雨とかラーメン。

E 今もだけど（笑）春雨、ラーメン大好きで、そういうものを結構備蓄してたので。

橋 ああ良かった。石油ストーブがあるからお湯も沸かせるんだ。

E そうそう。

橋 で、オール電化？

E 違う、オール電化じゃなくて、お風呂は石油だったの。

橋 一戸建てだよ。

E うん。電気と水は止まった。で、まあお風呂は沸かせるけど、水がないから。

橋 ちょっと沸かしてって感じ？

E ううん、入ってない。お水来るまで入れなかったよね。

橋 そっか。でもまあ、温めるとか、お湯沸かすのは大丈夫だよ。

E できた。

橋 一番困ったことって？その時、その2、3日で。

E なんかあんまり記憶ないんだよね。

橋 そんだけ必死だったっていうのもあるよね。でもまだ家に一緒にいて、安心できる自分の家だし、息子さんもまあ。帰って来てからも余震もいっぱいあったし、怖がるとか泣くとかはあった？

E そういふのはそんなになくて、たぶんやっぱり尋常な状況じゃないってのが分かってたので、お利口さんだったんだと思う、2、3日は。

橋 何かがあったんだ、僕はどうしたらいい……とかね。

E たぶん夜も、割とすんなりその中で寝てくれたんだよね。

橋 あーよかったね。薬はその時は？

E 飲んでた。

橋 飲んでたんだ。家に割とあったのかな？

E うん、あった。

橋 底をつくとかではなくてね。2人で備蓄もあって。その時は実家は割と離れてて、連絡は？

E 連絡は取れなかった。

橋 なかなかつかなかったよね。海の近くではない？

E 海の近くではない。

橋 日本海側だもんね、実家ね。そっか。実家とは連絡つかないけど、まあ海のほうとかじゃないし、無理して行くとかでも……。

E こっちほどのあれはないだろうとは思ってた。

橋 秋田だもんね。

E あの頃ってさ、散歩してた、歩いてた頃だったから。本当に歩いてたの、2、3日、1週間。

橋 うんうん、何か買えないかなとか？

E うん、売ってるところには寄って。

橋 結構歩けたよね。

E 歩けた。並んでもくれたの、あの頃すごく。2時間とかでも並んでくれたの。

橋 うわー、すごい。

E 嘘でしょって今なら思うけど。

橋 散歩を兼ねて何か買えないか。お水は？

E お水は備蓄してた。毎日ラーメン食べられるから、食事の面では割と良かったんだと思う。嬉しいったら変だけど。

橋 不満はないのね（笑）

E で、買い物もできる、まあ満足にできるわけじゃないけど毎日買い物行けるし、みたいなところはあったと思う。

橋 水はたくさんあったのね。その時やっぱり、歩ける人になってたのはすごく良かったよね。外に出ない人だったら、「ほらほら」って言ったところで、そんな時だし絶対出ないもんね。逆に良かったこととかがあってなんかある？

E 良かったこと……。

橋 まあ備蓄がいっぱいあって、石油ストーブも灯油もあって、2人で一緒にいたし。

E 本当にそれは良かった。あの時離れてたら本当に心配だったよねー。

橋 別々だったらねー。うちのあの辺って、車で20分ぐらい行ったら、中野のほうとかあっちのほうとかがもう水が、多賀城とかもすごいことになってたよね。だから、放デイとかでもしそっちのほうにやったら、もう気が気じゃないよね。うちは逆に街中の放デイにいたので、なかなか辿り着けなかったんだけど、お迎えに行って。

E あの時離れてる人はどんな気持ちだっただろうと思って。

橋 実家が海のほうとかね。周りの人が心配してとか、そういうのはあった？

E 民生委員さんが来てくれた。

橋 安否確認とかね。

E うん。で、お粥も持って来てくれたの。息子は食べないんだけど。

橋（笑）でも分かんないもんね。

E うんうん、分かんないから。

橋 「ありがとうございます」って。

E そうそう。

橋 あと学校も来た？

E 学校も来てくれた。次の日に来てくれたんだな、先生。心強かったー。

橋 担任の先生？

E 学年主任だったけど、元担任だったのね。

橋 近所の人とかは？

E 近所の人、まあ外歩いている時に話したりはして、「どこそでなんか売ってたよー」とか、そういう情報はもらった。水出た時も「水出たよー！」とかって（笑）

橋 なんか温泉出たみたいだね（笑）

E うん。

橋 うちのガスは、すごい遅かったじゃん、1ヶ月ぐらい。大阪ガスの人に来てくれた。開通するのにね。あの時全国から来てくれてたじゃない。自衛隊もバンバン入ってたし。備蓄してた物で、これがあるって良かったとかってある？逆にこれ置いとけば良かったなーとか。

E 何だろう。

橋 水とかもあったし？

E うん。その点ではあまり、あれだったかなー。結構ほら、買い物もできたから。

橋 家も、半壊とかヒビがとか、そういうのではないよね。

E ヒビは入ってたんだけど、壁とか。

橋 本当。半壊とか、そこまでは？

E そこまでは行かないけど。そういうのに気がついたのはしばらく経ってからだった。

橋 当時、最初は車の中だったし、家もそんなに被害も無かった。もしも家が、例えばもうちょっと半壊とか、ちょっとこれ大丈夫かなーみたいな感じになった時に、避難所は考えてた？

E ううん、絶対行かないと思う。

橋 絶対行かない？

E 半壊以上でも行かなかったと思う。

橋 （笑）それは、息子さんのために？

E うん。絶対無理。

橋 何が一番無理？

E 人が多くて、いろんな声とかすると。例えばやっぱり避難所でも、教室の1区間とか、まあ教室でも厳しいかもしれないけど、狭い空間、ちっちゃい空間でも与えてもらえるんだったらまた別だけど。

橋 そんなこと絶対無いもんね。

E 絶対無いもんね。体育館とか絶対無理。

橋 人の多さとか、声がダメなのね。そういうのがあると息子さんはどうなっちゃう？もうパニックになる？

E パニックになったり、大声出したり。自傷する時もあると思うし。

橋 うーん。自傷はその頃あった？

E うん。

橋 本当。どんな？

E （動作）

橋 あー。自分を叩くということ。そういうふうになっちゃうのがもう目に見えてるから、絶対行きたくない。

E だいぶ後から聞いたんだけど、学校に行った人いたんだよね、逃げた人とか。

橋 学区は原町？

E 学校ってごめん、支援学校。

橋 支援学校。鶴ヶ谷の？

E うん。自分が通ってる学校に行った人がいたのよ。あーそういう手があったかって後から思ったけど。

橋 近ければ考えるけど。先生達がいる場所だからね。

E でもやっぱり範囲広いからね。

橋 みんながみんなほとんどが遠いから（笑）

E そうだねー。後から聞いて、ああそうか、先生達も何人かはいるわけだし安心だったかなーって思ったけど。

橋 いや、光明とかでも近くの人に行ったかも。それでそこに暮らすとかじゃなくて、先生達がいてちょっと安心して少し過ごして帰るとか。もちろん海のほう为学校なら、もう避難所だよね。避難所として、生徒だけじゃなくてみんながたぶん集まっちゃって、先生達は帰れず。学校のグラウンドに住まいが建ち、みたいなのところもあったよね。その辺は、まあこっちの街に割と近くて平地の私達とかは、津波は来なかったし。

E うん、そうですね。

橋 ちなみにうちは東六小学区だから、人が駅から東六小に誘導されて、っていう大変なところで、とてもとても大変。同じマンションから行った人、すごい人だったから帰ってきた。年配の人達もね。

学校じゃなくても、例えば障害者センターだったり普段から福祉的な場所は、福祉避難所みたいにこれから整備されて、その時には障害のある人達だけ優先で来てくださってというふうになったら、行く？

E うーん。それって自閉症の難しいとこかなーと思ってた。

橋 そうなんだよね。

E 障害の人だけであっても、人によるよね。いる人によるというか。

橋 その辺が発達障害の人達の一番のポイントで。車椅子で、知的にすごい軽いような人たちだったら、支援の仕方が明らかというか、じゃあトイレをこういうふうにとか段差をこういうふうにとか。

E そうそう、明らかなの。

橋 大丈夫だなんて思えるなら親も行くけれども、私達の子も達はそうじゃないから、すごく優しく「わー」って迎えてくれても「じゃあ」ってなるかもしれない（笑）ような、扱いが難しい人達だから。家族は二の足を踏むんだよね。

E そうそう。

橋 やっぱり避難所は考えらんないかな。

E でも、福祉避難所ってやっぱりあれ以降いろいろ話題に出るから、必要だとは思。発達障害の人でも行ける人はいるだろうし。

橋 実際に家にいられないぐらいの被害になっちゃう人もいるしね。

E うん。

橋 割と近いような人達で、そういう避難所行ったけど大変だったとか、ちょっと心無い言葉があったとか、車で過ごしたとかさ、そういう人いる？

E うん。体育館にしばらくいた人はいるよ。

橋 近場で？

E 近場ってというか海のほうの人。

橋 あ、海のほうか。

E 海のほうの人で、新田の体育館に避難してきて。

橋 でもいるしかないもんね。大変だけど。大変な思いをしたらどうね。なんか胃が痛くなりそう（笑）

E 本当だよねー。

橋 親として、親の精神的なことが一番大変だったんじゃないかなっていう気がするね。

E うん。比較的大人しい子どもさんだったけど、ちっちゃくなってたよ。

橋 でも、その時はみんなが大変だからと思って、たぶん「うちの家族にはこういう支援が必要だから」とか言えないよね。

E 言ってないと思う。

橋 「個室にしてください」とかなんて言えないよね。すごい日本的なあれだけど、ねえ、みんなが大変だからとか。うちはマンションの8階で一応免震マンションで、3.11の時は大丈夫だったし、避難所は絶対に考えられないっていううちだけど。

E えー、でもエレベーター止まったら大変だよな。

橋 もちろん止まるさ（笑）

E 8階って、お買い物して持ってくるの大変。

橋 でも、うちも息子はその頃も歩ける人だったから。私はしんどいけど（笑）8階から、降りるのはまあいいじゃない、帰りに上がってくるのがね。鶴ヶ谷のほうとかで、非常階段がガーンって外れちゃった、公団だから古かったんだろ  
うけど、ブラーンって外れちゃった映像とかも見たから、次に大きいのが4月も来たじゃない、そういうのが来たら、非常階段にいたらアウトかもしれないなって思ったら、1日に何回も降りるのも怖いよ。エレベーターも最初怖かった。

E だよな、途中で止まったりしたらねー。

橋 また来るかも、また来るかもって。なんかボタンのそばにいるみたいな（笑）今も備蓄はいっぱいしてる？

E うん、してる。

橋 偉い。

E だって本当に特殊だしさ、食べ物（笑）でも今回のコロナだなんだの時も助かった、その備蓄は。出られないもの。

橋 確かにね。うんうん。息子さんの好きなラーメンだったり春雨ヌードルみたいな関係はさ、常温で置いとけるし  
ね。あれはありがたいね。

E うん。

橋 でも今は、ご自身のお父さんと一緒に3人でいるから、お父さんの分は春雨じゃないもんね。

E うん、レトルトご飯を。あ、レトルトじゃない、何だっけ、あのチンするやつ。

橋 サトウのご飯みたいなのね。

E そうそう。

橋 うちもローリングストックで、怖いからいっぱい置くんだけど、あ！もう期限切れてるとか。

E そうなんだよね。大丈夫、多少切れても食べられるって。

橋 ね。薬も、まあコロナとかでもそうだけど、あの当時って緊急とか、普通の人にはちょっとご遠慮ください的な感じ  
だったじゃない？薬が切れかかっているような人とかはものすごく不安で取りに行ったりとか、「どうしても出してく  
ださい」とかって言ったりした人もいて。だけど、「今は2週間分しか出せません」とかね、そういうのもあった  
からね。

E うんうん。でも、薬はちょっと最近気が緩んでたなー。ギリギリになっちゃう時もあるからなあ。

橋 だよな。病院も、そんなにそんなに早めに来られても、え、もう来たの？って思うだろうし。話は変わるけど、  
コロナのワクチンとかは、息子さんは全部？

E 4回までは受けた。

橋 母も？

E 母も。大変だった。注射絶対嫌いなので、押さえてやってくれるところを探すのが大変。

橋 え、探して、結局どこで？

E 安田病院。

橋 へー。

E 精神科があるじゃない？

橋 うん。そっか、精神だから。うちも今の主治医は精神だから。

E ああ。全然診察とかはしてないんだけど、本当にその時だけお願いして。でも1回は、東北大学のやつでやった  
の。お願いして、私が前もって行って「こういう子なんで」って言ったら、「大丈夫ですお母さん」って言って、大  
学生のお兄さん達が連携して、インカムで「今行きます」とか「本人来ました」とか（笑）

橋 かわいい（笑）

E そう、ほんとかわいいの。で、他の方々には申し訳なかったんだけど、ちょっとすっ飛ばしてさ。スススッと  
やってくれて。ありがたかった。

橋 じゃあ割と滞りなく？

E 滞りなく。最後の最後は暴れたけど。

橋 でも、人数もいるし（笑）

E うん、人数がいるから。お兄さん達ありがとうって。

橋 そういうこともしてくれるんだね。ちゃんと言わないとね。

E うん。言わないと分かんなかったと思うから。仙台市は断られたの。

橋 市立病院？

E ううん、市民センターとかでやってた時に問い合わせしたら、「ちょっと厳しいかも」って言われたのね。で、その大学病院にお願いしたら、「分かりました」って。

橋 仙台市……。

E 市民センターとかだから、ちょっとちっちゃくてあれなのかもしれないけどさ。

橋 でもさ、仙台市のそういうの、おかしいんだよね、やっぱり。

E 何となくね、やっぱりそういうの感じる。

橋 「厳しいです」って、市民なんですけど。市民だからやんなきゃダメなんだよ。だけど、ね……。

E 特にね、やらなきゃもう本当に大変だっていうイメージの時期だったじゃない？今ならまだしも。

橋 だけどやっぱり、入院とかがなかなか難しくリスクが高い人達だけど、遠慮しなきゃいけないっていうかさ、うーん、なんかすごく小さくなってっていうか。

E そうそう。リスクが高いからこそ本当はそういうのしっかりやりたいじゃない？

橋 でもそれは、さっき言ってた避難所もそうなんだけど、もう少し普通に「こうだからこういう支援欲しいんですよ、備えておきたいことです」っていうようなことを、普通に言えるような世の中になってほしい。

E そうそう、言うことができないもんね。そこからまず。

橋 とても言いづらいっていうか、申し訳ないって思ってしまうのは何だろう。当然震災の時は、もっと言えなかったよね、その2、3日とかは。停電してたから映像とかはすぐじゃなかったけど、電気が開通してテレビが見れて、あの津波の映像とか見るようになったら余計、大変な人がいるんだからって……。

E そうそう、私達はそんなこと言えないって思っちゃうよね。

橋 ね。思ってしまったって何も言えなくなってしまう私達って何なんだろう。たぶんみんな、みんながみんな手が足りなかったし。助けてもらうようなことがあった方は「申し訳ない」って、「うちなんか申し訳ない」みたいな感覚になるじゃない？ものすごく。それって何だろうなーって。

E 本当はね、普通にそれは当たり前なことなんだけど。

橋 やっぱりその辺は、個人的な見解だけど、宮城、仙台はとても遅れているなって思います。これでもし今とかに急にドカーンってなったら、お父さんも家にいるよりは、逆にデイサービスに行ってる時のほうが安心かもしれないねー。

E そうかもしれない、うん。

橋 4人みんな一緒にいる時とかだったら大変だろうねー。あの細腕に全部が（笑）

E 本当にじいちゃんがビビりでね、震度1とか2でも「地震だ、地震だ」とか言ってるから。

橋 あーそうなんだ。まあ動けることは動けるんだもんね。

E まあね、細いけどね。うんうん。

橋 でもちょっとやっぱり足腰少し保ってもらわないと、だよ。なんかあった時にはね。リュックぐらい持って（笑）